

No. 12

8月号

令和5年
2023・7・20



日立市視聴覚センター通信

みて、きいて、学びを楽しく

みきまた

編集・発行
日立市視聴覚センター
〒317-0073
日立市幸町1-21-1
電話：0294-24-5055
FAX：0294-24-5066

参考資料:「日立の戦災」小中学生平和学習資料 2017年発行

日立空襲

特集

語り継ぐ大切さ・戦争と平和

今年もまた、8・15終戦記念日が巡ってきました。

戦後78年が経過するなかで、戦争体験者はあと数年でほぼゼロになってしまおうとされています。

戦争を知らない戦後生まれの人口が全体の8割を超えるなか、また、ロシアによるウクライナ侵攻で戦争が身近な脅威となってきた今、益々、戦争の惨禍を次世代の子どもたちに伝えていく学びが大切になってきています。

昭和16年(1941)、日本軍がハワイの真珠湾を攻撃して始まった太平洋戦争は、終結するまでに5年の歳月を要しました。

昭和20年(1945)4月になると、アメリカ軍が沖縄へ上陸。東京大空襲では、約10万人の命が失われました。

日立市においても、軍需工場があったことから6月から7月にかけて、空から海から激しい攻撃を受け、街は焼け野原となっていました。特に7月19日深夜の焼夷弾攻撃はすさまじく、助川と宮田の市街地、約1万戸が全焼し廃墟となります。

8月には広島、長崎に新型爆弾(原爆)が投下され、一瞬で何万人の命が犠牲となり、大戦は終結しました。

日立空襲における攻撃の種類と被害状況

| 日時 | ▼死者 ■重軽傷者 ◆行方不明者 ●全壊戸数 |
|------------------|---|
| 6/10(日) 9:00 | 空襲1トン爆弾(100機・806発) ▼886 ■716 ◆29 ●1,486 |
| 7/17(火) 23:00 | 艦砲射撃(870発) ▼436 ■410 ◆9 ●637 |
| 7/19(木) 23:00 | 空襲焼夷弾攻撃(127機・13,900発) ▼65 ■103 ◆ ●11,000 |
| 7/26(木) 9:00 | 模擬原子爆弾 ▼1 ■10 |

「日立市勢要覧 昭和24年版」に示された数値

「平和の尊さ」を考える資料として当センターには、オススメの作品が約30点あります。

戦後生まれの祖父母が、実体験からの戦争の惨禍を語れなくなり、時間の経過とともに戦争の風化が懸念される中で、視覚教材を活用し学びを深めるために、ベスト3を紹介します。

① 野坂昭如 戦争童話集 忘れてはイケナイ物語り 2004年 全4巻全12話(1話約20分)



今でも地球上に戦争がある限り戦後はないという野坂昭如の信念で創作された童話集。画家・黒田征太郎の紙芝居的な映像と共に音楽に乗せ、宮沢りえをはじめ俳優12名の朗読により、感動を深めることができる作品集です。

② もったいないばあさんと 考えよう 世界のこと 2009年 42分 全10話(1話約4分)



災害、食料と水の不足、戦争や貧困など、世界の現状と子どもを取りまく問題を10話で伝え、暮らしとの関連を学ぶことができます。「7戦争がおきる」を視聴することで、なぜ、戦争がおきるのかを一緒に考えることができます。

③ 絵日記による学童疎開 600日の記録 —お茶の水学童集団疎開の記録— 2008年 28分



昭和19年の夏、空襲からのがれるため、親と別れて暮らした600日間の児童集団疎開。奇跡的にも保存されていた絵日記から、子どもたちの目でとらえた戦時下の生活を通して、平和の尊さ考えることができます。

地上最大のショー

THE GREATEST SHOW ON EARTH

監督・脚本：セシル・B・デミル
出演者：ベティ・ハットン、コーネル・ワイルド
チャールトン・ヘストン、ドロシー・ラムーア等

今月の
オススメ
渡辺

第25回アカデミー賞作品賞・原案賞

公開：1952年

時間：153分 貸出番号：1200919

映画監督・スピルバーグが幼少期に魅せられた映画。

サーカス団の人間模様とスペクタクルを融合させた超大作映画の巨匠セシル・B・デミルが贈る一大娯楽大作。矢継ぎ早に展開されるサーカスの華麗なショーと、その裏で繰り広げられる人間模様が巧みに描かれている。

